

1・みどり認定こども園の教育目標

元気に遊ぶ子

職員目標

『明日が待たれるこども園』

【知】自分で考え、のびのび表現出来る子

【情】多くの友だちと関わりながら遊び、温かみのある子

【意・体】夢中になり力いっぱいがんばる子

【躰】良い生活習慣を身につけている子

	評価項目	自己評価	反省と課題	関係者 評価
1	教育目標『元気に遊ぶ子』にそって計画的に教育活動を展開している	A	学年ごとの項目に添って達成度を調べました。『遊ぶ』ということの楽しさ、嬉しさなどを活動計画にいれ指導をしています。保護者、保育教諭共、理解や努力を続けたことで評価も高かった。	A
2	こども園の行事は年齢に応じた温かな体験を計画している。	B	行事を通して子どもたちの発達を確認しながら、年間活動に行事が入り体験します。縦割り活動を保育計画に入れ見守ったり、応援、憧れと温かい保育計画をしています。	A
3	乳幼児の発達を踏まえ一人ひとりの興味関心を探り、子ども達の持っている力や姿を大切にしている	B	環境や興味を広げる遊びを展開できるように努力した。保育教諭も歳児の発達を捉え子どもと向き合っています。0歳児から5歳児の興味関心を職員会議で伝えあっていく事を課題としている。	A
4	一人ひとりの個性を大切に意欲や自信を持たせている。	A	個々への対応として保育記録にエピソードとして記入し、子どもと保育教諭が思いを共有できるよう努力している。お互いの記録を通して学ぶ機会としている。褒め、認めていくことで自信がついていく。	A
5	集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを指導している。	A	「友だちが一緒が楽しい」という遊び経験の積み重ねが生活の中では大切です。一緒に活動では、相手のことを思い、ルールや約束がある事を知らせている。	A

6	保育教諭は乳幼児理解の為、保護者と連携をとっている。	B	成長、発達の基礎として保護者連携を大切にしている。保護者には積極的に声をかけ、面談などで気になることなどを話しあっている。どの子にも同じ対応に心がけている。	A
7	子どもの育ちを保護者と共有しようと心がけ、家庭での状況を考慮しながら子ども理解に努めている。	A	保護者意見には丁寧に対応している。家庭での状況をしっかり受け止め、こども園で友だちと過ごす様子を伝えあい早めにお互いの状況を理解する努力をする。	A
8	室内環境、衛生面の維持や、体調管理に努め定期的な健康診断を行い子どもの『健康』に配慮している。	A	園内衛生面を整え、子どもたちの健康観察記録表提出をお願いしています。こども園での生活指導の全面におき、保護者にご家庭での生活習慣管理（睡眠をとる）をお願いし連携を大切にしていきたい。	A
9	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現出来るよう指導に心がけている。	B	『話を聞く』『思ったことは伝える』という環境をこども園でも大切に教育活動計画に入れ、ご家庭でも大切にできるよう伝えている。自分の考えも伝える事が出来る時間を保育の中で指導して大切にしていきたい。	B
10	子ども同士で考える場を大切にし、友だちの意見を聞こうとする環境を整えている。	A	どの学年も『主体的、対話的で深い学び』に繋がりたいと考え生活全般に話し合いをする機会を大切にしてきました。次年度も、就学までに育てたい10の姿に向い検討していく。	A
11	こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている。	A	「明日も友だちと遊びたいな」「こども園に行くのが楽しみ」という明日を心待ちにする環境や教育保育に心がけたい。	A

### 【保護者連携】

令和2年度、保護者連携という面を考えると保護者も満足度が低かったのを課題としました。

保護者が、子どもが園の中でどんな活動に興味を持って生活しているのか色々な配信を考えてほしいという要望がたくさん聞かれました。

#### 現況

◎進んで挨拶をする子が増えている

◎園目標『明日が待たれる子ども園』という職員目標は高い評価をいただきました。来年度の全体計画、各学年の活動計画の見直しを次年度に繋がりたい

#### 課題

★ホームページの配信を工夫する

★保育教諭の書く保育記録の工夫（エピソード記録）

★園だより、クラスだよりでの発信（ドキュメンテーション利用の発信）

令和2年度教育目標 「元気に遊ぶ子」に対する学校評価書

令和3年3月31日  
学校法人 みどり認定こども園

	目指す姿	具体的なあらわれ	保護者（5.4点合計%）			保育教諭 ABC	自己評価から
			赤	青	黄		
知	自分で考え、のびのび表現できる子	自信を持って表現	94	93	79	A	評価全体を各学年の保護者の皆さんから、高得点の評価を頂きました。 「人の話を聞く」という項目だけを見ても昨年より各学年の評価が上がっていました。コロナ禍で自宅自粛期間があり、保護者も、子どもたちと『話す・聞く』という事が日常で少し余裕な時間があったのではと考えられました。しかし、生活全般と就学に向う五歳時期には人の話をしっかり受け取り、自信のある表現を楽しむようになる事を課題にしています。
		人の話を聞ける	85	86	95	B	
		自分の思いを言葉で伝える	89	86	72	A	
		明るく表情豊かである	96	98	92	A	
情	誰とでも遊び、思いやりのある子	友だちと仲良くできる		84	90	A	・みどりこども園の職員目標である『明日が待たれるこども園』として日常生活の中で繰り返される友だちとの関わり、自然への興味などは月の計画に必ず入ってきます。 自分の気持ちが抑えられなくて起こるトラブルも気になる。人への優しさは重ねて指導していく。
		人の気持ちを考える優しい心を持つ	83	80	86	A	
		動植物に関心を持てる	78	80	82	A	
意体	夢中になり力いっぱいがんばる子	思い切り身体を動かして遊ぶ	100	96	90	A	・思い切り身体を動かすことは厭わないが、興味を持つきっかけづくりが大切で環境として計画していかないと持続性が薄く、最後までやり通す力に欠けます。友だちを誘いながら、次の日も興味を繋げていけるよう言葉かけや配慮を考えたい。
		やり通そうとする		75	79	B	
		自分から取り組む	81	84	83	A	
躰	良い生活習慣を身につける子	あいさつができる	91	68	71	A	・挨拶の項目では、歳児が低い年少は周りを真似てやろうとするが、年中、年長は恥ずかしい気持ちが大きく、促されて出来てくる場面も見かけられる。進んで挨拶ができることに自信がもてるように配慮したい。 ・例年課題となる『物を大切にする。片付けができる』は生活の中の繰り返しの中で、“使っている物にも命がある事”を意識づけて伝えています。整理整頓をして場の切り替えも大切にしていきたい。
		物を大切にする・片付けができる	73	64	74	B	
		約束やルールを守る	66	78	92	B	

令和3年度、教育目標としてさらに教育活動を進め指導していく項目

◇人の話を聞ける      ◇自分の思いを言葉で伝える      ◇あいさつができる      ◇物を大切にする・片付けができる